

学校給食生産者グループが文部科学大臣表彰を受賞



平成19年12月11日、気高町逢坂の学校給食生産グループ(米田立夫会長 会員数20名)に学校給食文部科学大臣表彰が伝達されました。

地域の思いを子どもたちへ

学校給食生産グループ(逢坂)の活動拠点は鳥取市気高町逢坂地区。南に鷲峰山、北に日本海を望むことができる広々とした耕地が広がっています。

逢坂地区を訪れると、子どもたちが書いたかわいらしい野菜の絵とともに「学校給食供給畑」と書かれた看板が目につきます。

生産グループは、設立以降、安全・安心な野菜提供のため、学校給食センターやJAと連携をしながら、子どもたちとの給食交流会の開催や看板設置などを通じて生産意欲を高めてこられ、現在では20品目の野菜を気高学校給食センター(受配校6校・約900食)に供給いただいています。

「地域で獲れた野菜を力いっぱい食べて元気に育てほしい」と語られる米田会長さんからは、子どもたちへ寄せる生産者のみなさんの熱い思いが伝わってきました。



伝達式にて(中央が米田会)

学校給食生産グループ(逢坂)の活動概要

【平成15年度】

・子どもたちへ安全・安心な野菜を供給するため、給食センターにおける食材の産地確認、農薬等の使用状況の確認、子どもたちへの食の指導などについて、「トレーサビリティ学習会」を実施。

・学校給食週間などを利用して、生産者が学校へ出向き、地元産食材を利用した給食を試食しながら子どもたちと意見交換を実施。

【平成16年度】

・地元産物を直販施設へ優先的に出荷する組織から学校給食用野菜に積極的に取り組むための生産グループへ組織改編。トレーサビリティの徹底と、供給野菜の品質の均一化のため、生産者、JA、学校栄養職員、農水省担当アドバイザーによる栽培指導会を実施。

・学校フォーラム、地産地消フォーラムへ積極的に参加し、会員の意識高揚を図る。

・JA東伯女性会給食野菜会との視察交流を通じて、給食センターと生産者との連携や野菜作付け表の取り組みなどの情報交換実施。



ほ場を知らせる看板

【平成17・18年度】

・給食センターへの食材供給規格の見直しと生産現場での意識改革を図る。

・通学路付近の圃場選定、圃場を知らせる看板、収穫作業体験などを通じて、生産にまつわる苦労話や子どもたちに対する思いについて会食をしながら意見交換する学校給食交流会を開催(逢坂小学校)。

平成19年12月12日登録